

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52307	保育内容(言葉) Teaching Methods of Child-care Contents (Language)	入口 愛			1	必修	1後期

**科目の概要**

本科目においては、領域「言葉」のねらい及び内容をふまえ、1年前期「幼児と言葉」で学んだ子どもの言葉の発達に即して、豊かな言葉を育むための保育活動を考える力、実践する力を身に付けることを目的とする。園生活における様々な子どもの言葉の問題の事例を通して、保育者の援助のあり方について考え、子どもが言葉で伝え、友だちや先生と心を通わせる楽しさを味わえる保育活動について学ぶ。また、絵本の読み聞かせ等の教材を活用し、子どもたちが言葉による伝え合いの楽しさを実感できる遊びを援助していく実践力を模擬保育を通して習得する。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。これらの内容は主にディプロマ・ポリシー②③に相当する。これらを身に付けるために、おこなう。

学修内容	到達目標
① 領域「言葉」のねらい及び内容と指導上の留意点と評価の考え方を理解する。 ② 子どもの言葉を受け止め、表現を豊かにしていく保育者の援助や指導について、保育場面の事例を通して学ぶ。 ③ 子どもの言葉の発達を促す絵本やシアタースタイル等の教材について、活用方法を身に付ける。	① 領域「言葉」のねらい及び内容と指導上の留意点と評価の考え方を説明することができる。(DP①②③) ② 子どもの言葉を受け止め、表現を豊かにしていく保育者の援助や指導について、保育場面の事例を通して考察することができる。(DP③④⑥) ③ 子どもの言葉の発達を促す絵本やシアタースタイル等の教材について、活用方法を身に付けることができる。(DP②③)

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分自身の言語活動をみつめなおし、保育者として子どもたちのモデルとなるような言葉を日常的に使う努力をする。
	働きかけ力	
	実行力	課題レポートに、主体的かつ積極的に取り組みことができる。
考え抜く力	課題発見力	乳幼児の言葉を育むために、何をしていくべきか、常に省察し、課題を見出していく姿勢を持つことができる。
	計画力	
	創造力	乳幼児が楽しめる言葉を使った遊び等を考案していくことができる。
チームで働く力	発信力	授業中にまわりが理解しやすいように、自分の意見を整理しながら、述べることができる。
	傾聴力	授業中は、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如と判断されるような行動を取ることなく、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト： 絵本土専門委員会 独立行政法人国立青少年振興機構「認定絵本土養成講座テキスト(第2版)」中央法規出版(1800円)・教員の作成プリント  
 参考文献：①赤羽有里子、鈴木穂波編『保育内容ことば 第3版』みらい(2200円)②田中謙編著『デザインする保育内容指導法「言葉」』教育情報出版(2200円)③浅井拓久也編著『指導法もいっしょに学ぶ保育内容「言葉」』教育情報出版(2000円)

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連： 幼児と言葉・幼児と人間関係・幼児と環境・児童文化・乳児保育・保育実習Ⅱ・教育実習Ⅱ  
 資格との関連： 幼稚園教諭二種免許・保育士・認定絵本土・准学校心理士

**学修上の助言**      **受講生とのルール**

・言葉に対する感覚を豊かにするよう、普段の生活から言葉を意識すること。 ・日頃より絵本や童話、紙芝居などの児童文化財に触れるようにすること。	・私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。 ・授業態度(参加態度や出席状況)・教材制作・レポートによって評価する。
---	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		40	①	✓	
					②	✓	
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			50	①			
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

ワークシート（ペープサート：10点、かるた：10点、お話：10点）の作成に際して、ねらいや実践の気づき等を記入したものを評価する。評価にあたって重視することは、実践のねらいが明確か、実践をとおして得た気づきを自分の保育・教育にどのように活かせるかなどの観点から評価する。認定絵本士に関するレポートを評価する（10点）。講義内容を理解できているかなどの観点から評価する。

ペープサート（20点）、童話（10点）、かるた（10点）、お話（10点）いずれも子どもの言葉の発達を促す／言葉を豊かにする観点をもって制作できているかを評価する。

(主体性) 自分自身が言葉による伝え合いを大切に、保育者として子どもたちのモデルとなるような言葉を日常的に使う努力をすることができる。  
 (実行力) 課題に対し積極的な自主学修をし、できる限りの努力をもって完成させることができる。  
 (課題発見力) 乳幼児が言葉に興味関心を持つための保育者としての語りかけ方や、遊び等について考え、課題を見出ししていく姿勢を持つことができる。  
 (創造力) 幼児の言葉を育んでいく言葉遊びや児童文化を活用したオリジナリティある保育指導案を考案し、作成することができる。  
 (発信力・傾聴力) 授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べることができ、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。  
 (規律性) 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レベルS(秀)は、学修内容のすべてにおいて十分な理解と主体的に課題を発見、解決へと取り組む姿勢がみられ、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。</p> <p>レベルA(優)は、学修内容すべてにおいて十分な理解ができており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が優れた評価であることが基準となる。</p>	<p>レベルB(良)は、学修内容が理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準以上を満たしており、かつ到達レベルA(優)までの評価が基準となる。</p> <p>レベルC(可)は、学修内容がおおむね理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準を満たしている評価であることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	保育所保育指針・幼保連携認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領を通して、領域「言葉」のねらい及び内容を再確認する。自分の名前を用いたことば遊びを考える。	講義 グループワーク パソコンを使用して、語句などを調べ、参考とする	保育所保育指針・幼保連携認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領に提示されている領域言葉に関する事項について理解することができる。	(予習) シラバスを読み、疑問点を挙げておく。 (復習) 保育所保育指針・幼保連携認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領に提示されている領域「言葉」についてNotebookLMなどのAIを活用しつつ、概説できるようにまとめておく。	45	主体性 創造力 傾聴力 規律性
2	【絵本と出会う①(はじめての絵本との出会い)】乳幼児を対象とした赤ちゃん絵本の特色や発達過程に合った絵本の選び方を学ぶ。地域等での絵本を活用した育児支援活動について知る。(認定絵本士養成講座)	講義 グループワーク パソコンを使用して、地域の育児支援活動を調べる。	乳幼児を対象とした赤ちゃん絵本の特色や発達過程に合った絵本が活用できる。地域等での絵本を活用した育児支援活動について知るることができる。	(予習) 認定絵本士養成講座テキストP64～P69を通読し、疑問点等を明らかにする。 (復習) 居住地域での絵本を活用した育児支援活動について調べる。NotebookLMなどのAIを活用し、他にどのような絵本を活用した育児支援活動があるのかも調べ、まとめる。	45	主体性 傾聴力 規律性
3	【絵本と出会う②保育・教育の場】保育・教育現場における絵本の意義や活動の具体的な取り組みについて、理解する。また、絵本と子どもをつなぐための保育者・教員の援助の在り方について学ぶ。(認定絵本士養成講座)	講義 グループワーク	保育・教育現場における絵本の意義や活動の具体的な取り組み、絵本と子どもをつなぐための保育者・教員の援助の在り方について、おおむね理解することができる。	(予習) 認定絵本士養成講座テキストP70～75を通読し、疑問点等を明らかにする。 (復習) 今後の実習等で取り組みたい絵本を活用した保育活動を考えたり、NotebookLMなどのAIを活用したりして、自分なりにまとめる。	45	主体性 計画力 創造力 傾聴力
4	【大人の心を豊かにする絵本】絵本が大人に与える喜びや慰めといった影響について理解する。子どもたちの家族である高齢者や療養や緩和ケアが必要であるといった保護者の様々な状況を想定し、絵本の役割を考える。(認定絵本士養成講座)	講義 グループワーク	大人にとっての絵本の意義についておおむね理解することができる。高齢者や療養や緩和ケアが必要であるといったさまざまな人達にとっての絵本の役割をおおよそ考えることができる。	(予習) 認定絵本士講座テキストP166～171を通読し、疑問点等を明らかにする。 (復習) 大人にとっての絵本の役割について、NotebookLMなどのAIを活用し、それらをもとに自分の考えを述べる(レポート)。	45	主体性 実行力 傾聴力
5	童話について、その特徴と役割について学ぶ。	講義 制作(童話の世界をイメージする・下絵描き)	童話の特徴と役割について、おおむね理解することができる。	(予習) AI等を活用し、どのような童話があるかを調べておく。 (復習) 童話の特徴と役割を確認しておく。『エルマーのぼうけん』を読んでおく。	45	主体性 創造力 傾聴力
6	保育・教育現場における童話の実践方法について学ぶ。童話の世界をイメージし、アウトプットする。	講義 制作(童話の世界を可視化する・本書き)	保育・教育現場における童話の実践方法についておおむね理解できる。	(予習) 童話の世界をイメージし、NotebookLMなどのAIを活用し、可視化できるようにする。 (復習) 授業で紹介した実践例の他にどのような実践例があるか調べる。	45	主体性 実行力 創造力 傾聴力
7	ペープサートについて学ぶ。子どもの言葉の発達を促す、豊かにするペープサートを企画する。	講義 制作(ペープサートの企画) パソコンを使用して、パネルシアターの実践例を調べ、参考とする。 図書館を利用して、パネルシアターの実践例を調べ、参考とする。	保育・教育現場で実践されるペープサートがどのようなものかを理解する。	(予習) AI等を活用し、ペープサートについて調べておく。 (復習) 企画した内容を再度確認する。	45	主体性 実行力 創造力
8	子どもの言葉の発達を促す、言葉を豊かにするペープサートを制作する(下絵を描く)。	講義 制作(ペープサートの下絵描き)	子どもが見やすい大きさで下絵を描くことができる。	(予習) 下絵を準備しておく。 (予習) 下絵を完成させる。	45	主体性 実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	子どもの言葉の発達を促す、言葉を豊かにするペープサートとを制作する(色塗り・切り取り)。ペープサートを実践するための台本を制作する。	講義 制作(ペープサートの色塗り・切り抜き、台本を書く)	子どもが見やすい工夫をしながら、ペープサートを制作できる。	(予習) ペープサートの配色を決めておく。 (復習) ペープサートおよび台本をAI等を活用しつつ、完成させる。	45	主体性 実行力 計画力 発信力 規律性
10	保育・教育現場で実践されるストーリーテリングについて学ぶ。	講義 制作(お話をつくる)	子どもに語ることを想定しながら、お話をつくることができる。	(予習) ストーリーテリングについて調べておく。 (復習) お話を完成させる。NotebookLMでつくったお話を添削する。	45	主体性 発信力 傾聴力 規律性
11	子どもの言葉の発達を促す、言葉を豊かにするペープサートを実践する。ストーリーテリングを実践する。	実践(ペープサートとストーリーテリングの実践) グループワーク	制作したペープサートを発表することができる。 つくったお話をグループメンバーに語る事ができる。	(予習) 実践(発表)ができるように準備練習をする。 (復習) 実践(発表)をとおして得た気づきをまとめておく。	45	主体性 創造力 傾聴力
12	子どもが文字に興味を持ったための教材を学ぶ。制作するかるたを企画する。	講義 制作(かるたの企画) グループワーク	子どもが文字に興味を持ったための教材にはどのようなものがあるのかを理解する。	(予習) 幼少期のおこなったかるた体験を思い出す。かるたで遊ぶ。 (復習) 授業で紹介した教材のほかに、どのようなものがあるのかをNotebookLMなどのAIを活用し、調べる。	45	主体性 創造力 傾聴力
13	子どもが文字に興味を持ったためのかるたを制作する(文字札をつくる)。	講義 かるた(文字札)制作	子どもが理解しやすい文字札の内容を考えることができる。	(予習) 制作するかるたの内容を具体的にイメージしておく。 (復習) 考えた文字札の内容をNotebookLMで添削する。	45	主体性 創造力 傾聴力
14	子どもが文字に興味を持ったためのかるたを制作する(絵札を書く)。	講義 かるた(絵札)制作	文字札の内容にあった絵を考えることができる。	(予習) 制作するかるたの絵をNotebookLMなどのAIを活用し、具体的にイメージしておく。 (復習) 制作したかるたの文字札と絵札を確認しておく。	45	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
15	制作したかるたの実践し、子どもにとってのかるた遊びを考える。	かるたの実践 グループワーク	制作したかるたを実践することができる。	(予習) 制作したかるたの絵札と文字札を確認しておく。 (復習) 子どもにとっての遊びとは何かを考え、まとめる。	45	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力